

捜真女学校 進路・進学資料

—SOSHIN GIRLS' SCHOOL CAREER GUIDANCE—

わたしは成長できるという希望。わたしたちは世の中を良くしていくことができるという希望。

よりよい社会、平和な世界の実現に貢献する人への成長を目指して、捜真には
中学1年生から始める「学びのプログラム」があります。「私」は「何をするために学ぶのか」を考える。

そのために身につけるべき力を養う。捜真教育のゴールは大学合格の先にあります。

● 学びのプログラム

StudyHall

週3回、20分間の自習時間。
放課後の自習室利用と組み
合わせれば、その日の学習を
学校で完結できます。

小テスト・宿題

週ごと、単元ごとの小テストや
宿題で学習のモチベーション
UPを目指します。

補習・講習

小さな補習、講習が日常的に
行われている捜真。夏には
全校で夏期講習。高3対象の
受験対策講座は夏だけでなく
1月、2月にも実施。

自習室

学習塾のチューターが常駐す
る自習室。クラブ活動終了後も
開室しているので、その日の
うちに分からないことを質問
できます。

模擬試験・検定試験

中学生は年に2回、高校生は
複数回実施して、自分の学力
の現在地と推移を確かめます。
英検、GTEC、漢検などを校内
で受験できます。

生徒面談・進路相談

教員との面談では生活のこと
から進路のことまで何でも何
回でも相談できます。高2以上
は保護者の方を交えて具体的
な進路相談をします。

大学出張講義

年に複数回、捜真で大学の授
業を体験。24年度は日本獣医
生命科学大学と東京大学の教
授による特別講義。高1では
データサイエンスを学びます。

進路ガイダンス

高校1年生は学部・学科に
ついての説明を10を超える
大学から直接伺います。大学
とのつながりを活かした進路
プログラムです。

PASS

Personalized Academic
Support for Students
個別最適化されたチームが
受験生をサポートします。

私学の女子校ならではの細やかな学びの積み重ねと進学・キャリア教育。
一人ひとりが確かな学力を身につけ、よりよい未来を創る人となってゆきます。

2024年度おもな大学合格実績

捜真での多くの体験や学びをもとに、多様な分野へと進んでゆきます。

東京藝術	音楽	1	立教	法	3	法政	法	1
横浜国立	国際教養	2	青山学院	文／社会情報 ／理工ほか	9	北里	医療衛生／ 海洋生命	2
秋田	総合環境	1	津田塾	総合政策 ／学芸	3	國學院	経済／ 文／法	5
早稲田	国際教養／ 文化構想	2	東京女子	現代教養	3	女子美術	芸術	2
慶應義塾	法	1	日本女子	国際文化 ／家政ほか	5	多摩美術	美術	2
上智	外国語／総合 グローバルほか	4	聖心女子	現代教養	7	日本体育	体育	1
東京理科	先進工	1	学習院	文／国際 社会ほか	5	東京農業	生物産業	1
国際基督教	教養	2	明治学院	文／法	4	成城	法	1
明治	理工	2	関西学院	総合政策	1	立命館アジア	アジア太平洋	2

24年度卒業生数:133人

おもな指定校推薦大学

「何のために学ぶのか」を考え抜く6年間を過ごした捜真生の活動が各大学からも評価され、**700**を超える指定校枠を有しています。

人文・社会・教養系	理・工・農系	医・薬・看護・芸術系
横浜国立	東京理科	【医・薬・看護】
慶應義塾	上智	北里(医療衛生)
上智	青山学院	昭和薬科(薬)
国際基督教	明治	神奈川歯科
青山学院	立教	聖路加国際(看護)
立教	北里	上智(看護)
法政	芝浦工業	東邦(看護)
学習院	東京工科	湘南医療
津田塾	千葉工業	湘南鎌倉医療(看護)
東京女子	東京電機	関東学院(看護)
日本女子	津田塾	【芸術・デザイン】
昭和女子	神奈川	共立女子
清泉女子	玉川	昭和女子
東洋英和	東海	女子美術
明治学院	東京農業	東京造形
成城	立命館	武蔵野音大

前年度
推薦型選抜
合格件数

50人

中高大連携教育

捜真女学校では、20年以上前から大学との教育提携を結び、大学や社会とつながる学びを実施しています。

高校生は大学の科目履修も可能で、大学での学びを具体的に知ることができます。大学院進学も視野に入れて「自分が学びたいことを学べる場所」を見つけられるようサポートします。

主な教育提携大学

明治学院大学・北里大学・東邦大学看護学部
津田塾大学・東京女子大学・日本女子大学

全**13**大学



中学生の実験棟訪問。最新の研究に触れる体験。

信頼からつながる学び
広がる高大連携



社会問題ポスターセッション。大学教授とのやり取りも。

捜真Vプロジェクト：総合探究

学ぶ目的を探究する全教科横断の「捜真Vプロジェクト」。全員が体験する「炊き出しボランティア」、外からは見えない仕事の中身や働く意味まで考え、1年かけて作成する「職業レポート」、同級生だけでなく大学教授や社会人の方との質疑応答もある「社会問題ポスターセッション」と、体験を重視した総合探究です。

入試サポート〈PASS〉

Personalized Academic Support for Students

捜真女学校では、多様化した入試に臨む受験生を

- ①受験生の人柄・得意・経験をよく知る教員
- ②志望大学の傾向を熟知した教員
- ③面接・プレゼンなど新たな入試形態についての特別指導を行う教員

の三方向から、一人ひとりに最適な形でサポートします。特にプレゼンテーションや小論文などの「総合型選抜」に対しては捜真に蓄積されている指導ノウハウが活かされ、毎年多数の合格につながっています。多くの受験生が学校独自のサポート体制を活用しています。

①受験生の得意・経験をよく知る教員



②大学の傾向を熟知した教員

③入試形態に特化した教員

前年度
総合型選抜
合格件数

76人

●進学系統で見る捜真

文系が5割強、理系が4割弱と、文理どちらにも進学します。文理の枠組みが変化する今、柔軟な視野を持った生徒たちが、それぞれの興味や関心を活かして進路を選んでいきます。約1割が芸術・体育といった分野に進むのも大きな特長であり、自分らしく生きる力を育む捜真教育の成果が表れています。一人ひとりが個性を活かしながら思い描く進路を自ら切り拓いています。



東京藝術大学に2022・2024年度にそれぞれ現役合格者を輩出

●入試方式で見る捜真

24年度は総合型選抜で76人、学校推薦型選抜で50人、一般選抜で76人が合格しました。総合型選抜は、面接やプレゼンテーション、小論文、レポートに加えて、学力試験を課す場合もあり、多角的に評価される試験です。これらを通して問われるのは、「これまでの学びをどう活かそうとしているのか」という姿勢です。こうした評価のあり方は、捜真女学校が大切にしている「体験を通して学びを深める」という教育姿勢とも重なっています。

進路を決めた捜真の体験と仲間

—卒業生インタビュー 嶋岡永珠さん(上智大学法学部在学)

捜真女学校卒業生 嶋岡永珠さん。在学中に関わった児童虐待防止運動をきっかけに、社会課題への関心を深め、総合型選抜で上智大学法学部に進学。捜真での体験と現在の学び、進路選択について聞きました。

児童虐待防止活動に参加したきっかけは、学校から紹介されたNPO法人「つながぐ」の活動に参加したことです。現在はその一員として活動していますが、最初は法律についての知識も関心もあまりなく、自分と同世代の問題だったから興味を持ちました。捜真では、文化祭やクラブ活動、そして授業などで奉仕活動に関わることがとても多くあります。中学入学後からたくさん触れてきていたので、新たな活動にも参加しやすかったです。

最初は「署名活動に参加するだけ」くらいの気持ちだったのですが、横浜市の議会である横浜市会に行ったり、誰もが知っている政治家の先生に直接お会いして意見交換会をしたりして、「すごい話になってきたぞ……!」と思っていました(笑)。

大きな転換点となったのは国会議事堂を訪れた日に厚生労働省の担当者とお会いして直接疑問をぶつけたこと。「今の法律は弱い立場の人の味方にはなっていない。」と思って質問をするものの、とにかく国会での厚生労働省の方の話が分からなかった。問題点自体も複雑でしたし、私自身の知識が全く足りていませんでした。厚生労働省の方の回答の意味、どこが改善すべき問題なのかすら分からないまま終わってしまいました。

その日の帰り、一緒に参加した友達と反省会をしました。たぶん3時間くらいやったのだと思います。用語を一つひとつ調べて、答えてくださったことの意味を皆で四苦八苦しながら確認。この反省会でようやく少しだけ問題点が整理されました。

「社会と関わる法学」を学びたい、と進学先を明確に意識しました。総合探究では「ヤングケアラー」について調べ、先生から関連の新聞記事をたくさん紹介していただきました。活動してきたことを活かして総合型選抜で受験する際には、先生方のサポートを受けて面接や小論文を事前に何度も練習しました。

目的を持って進路を選べたことは本当によかったと感じています。法学部は多くの大学にありますが、その中でも「社会とつながる法学」を意識して受験校を選択しました。捜真での体験がなかったら「なんとなく」で大学を選んでいたと思います。「学びたい!」という思いが今の大きな勉強も支えてくれています。

捜真は「熱中すること」を後押ししてくれました。「これをやりたい!」と思えば学校や周りが応援してくれる。そして何より、同じように社会課題に関心を持ち、真剣に取り組む仲間が捜真にはいました。「難しい事やっけていて偉いね」ではなく、一緒に考え、行動し、共に学べる仲間がいたこと。そのことは私の進路選択に、そして人生に大きな影響を与えてくれたと思います。



在学中の嶋岡さん